

瑞穂通り第六街路樹愛護会に入会しての発見/みどりの日 2020.5.4

2段にフォームを替えましたのでスマホでもスクロール手間が省けて見易いと思いますが、どうでしょうか？



美化清掃活動が終了した第六愛護会の皆さん

歩道・街路樹の美化清掃範囲は瑞穂区役所から瑞穂運動場西までの間の東側です。

平成19年3月から瑞穂土木事務所から委託され、毎月10日が活動日です。

歩道の幅員は6mで地下埋設カルバートを挟んで植樹帯が2列あります。

この区間の街路樹は全て落葉樹で、車道側の高木はドライバーの視線誘導と癒しの効果を考慮して800mの区間に成長の早いイチョウ11本・トウカエデ9本が植栽されています。

歩道中央の植樹柵は歩行者の憩いと癒しを考慮しており、ハクモクレン16本・八重桜16本の中木で夏季の木陰を作ります。車道側の高木の下には歩車道分離の低木用の帯状植栽柵があり、ユキヤナギ・オオムラサキツツジ・ヘデラ、それと良く分からない蔓科のクレマチス？が植栽されています。

冬季は清掃作業が主で歩道の吸い殻・空き缶・ペットボトル・ビニール袋などが目に留まりま

したが、作業はそれほども無く30分を持て余す程でした。2月末には先ず白モクレンが春を告げて開花します。

清楚なハクモクレンの花びらは厚くて大きく綺麗ですが、歩道に落ちた花弁は見苦しく、歩行者に踏みつけられると、インターブロック目地に入った花柄の清掃作業は容易ではありません。3月に入り植栽柵の雑草が芽吹きましたが、未だ小さく歩道歩きに障害を感じる事はありませんでした。4月に入り雑草が伸び目立つようになったのであまり酷いところは雑草除去の作業をしました。雑草が根から抜かれ表土が現れると作業の達成感を感じます。

この時期には山崎川のソメイヨシノが終わり、八重桜がバトンタッチして満開になります。樹齢40年程の八重桜は花もたわわに咲き、見事な桜並木になります。

落葉樹のトウカエデ・イチョウは高木で見応えがあり、芽吹き頃の見事な明るい若葉は心を晴れやかにします。

詳しい樹木名の調査中に意外や、小児歯科の前の桜が一本、4月初めに緑色の花弁であることを発見しました。ウィキペディアによれば御衣黄(ギョイコウ)と言い最初は花弁が緑色ですが、時間が経つと色が薄くなり黄色に変色し、中心部は赤くなります。



電線は地下埋設なので高木のトウカエデ



区役所前の見事な八重桜



小児歯科の前の御衣黄の桜



先はヒルトン、区間で一番大きな八重桜



アップした御衣黄の花弁



地元の方によるジャーマンアイリスの植栽



地元の方によるシランの植栽



運動場西交差点の八重桜とトウカエデ

また、焙煎珈琲の店の前の植栽樹には犬柘植・キンカン・パキラの灌木が植えられており、店の方の手入れが行き届いた可愛い植栽が見られます。住民の方の心のこもった手入れが行われているシラン・ジャーマンアイリスなどの状態を見ると気配りが感じられます。狭い植栽樹が色んな種類の密度の高い草花は幕の内弁当を想わせます。

ボランティアの功德で、今まであまり関心のなかった街路樹や植木を眺められ、入会してもう一つ街歩きの楽しみが増えました。

ところで、新感染症コロナウイルスによるリスク回避のために家に永く居ることは健康な高齢者にも負担になり鬱状態になります。各人ソーシャルディスタンスを守り、外気に触れ、適度な運動の街路樹ボランティア活動は心も体もリフレッシュになります。健康のためにも参加したいものです。